

子育て問題

問 18歳までの医療費補助の検討は

答 前向きに考え拡大を検討します



篠崎 久美子 議員

【子育て支援策について】

問 未満児保育のニーズと対応状況は。

村長 3歳未満の保育所定員は30名で、本年は50名の申込みがあり、4月当初は20名でスタートし12月からは30名を受け入れています。25年度の申込みは46名で、未満児保育のニーズは多いところ

問 ファミリーサポートの子育て支援事業は。

村長 平成14年6月に開始された社協の独自事業で、子供の一時預かり、留守番や

7月に7回利用された以外は月に2〜3回の利用です。

問 病児、病後保育の支援体制は。

村長 村独自の運営は困難で、受け入れ先があれば検討したいです。

問 要望の多い医療費補助対象年齢の18歳までの拡大は。

村長 拡大した場合の給付金試算結果も含め、年齢拡大については前向きに考えており、検討してまいります。

【下水道受益者負担金問題について】

問 現在の調査状況、監査要求の経過などは。

村長 臨時職員1名を採用し、平成21〜23年度の決算数値が不一致である原因を調査しています。不納欠損額の監査は8月2日に要求し、8月23日〜11月26日までに監査

が実施され、11月30日にホームページに掲載、今後、結果を抜粋したものを全戸配布し

たいと考えています。

問 結果を受けて第三者委員会及び損害賠償については。

村長 監査や議会特別委員会の結果を踏まえて、設置が必要であるとすれば、設置することを考えます。時期は年明けと考えますが、委



しろうま保育園全景

員会設置には条例整備が必要となり、専門家などをまじえた構成にします。損害賠償は、対象となるかどうかなども含め検討が必要で、近隣自治体を参考に慎重に検討したいと思います。

問 監査結果で書類がないことが指摘されたが、公文書管理については。

村長 庁内全般での公文書管理体制の構築、マニュアル化も考えたいと思います。

【来年度予算編成について】

問 来年度予算編成の基礎となる基本方針は。

村長 地域資源の活用と掘り起こしを行い、活力ある白馬村を目指すとし、特産品開発の推進、自然エネルギーや観光資源としての小水力発電や電気自動車対策及び奈良井やスノーハープを考え、これらの事業に予算配分し、恒久的な活力源となるよう取り組みます。

また、安心して子育てできる環境づくり、安らかな老後を過ごせる福祉社会の実現にも予算配分を目指します。